

分子夾雑の生命化学 第三回領域会議 プログラム

会場：アゴーラ福岡山の上ホテル&スバ

| 5月20日(月) | | | |
|-------------|---------------------|--------------------|--|
| 13:00-13:30 | 杉本 直己 (A02) | 甲南大学・FIBER・教授 | 細胞夾雑構造系の構築と細胞内活性分子設計指針の構築 |
| 13:30-13:55 | 片平 正人 (A02) | 京都大学・エネ理研・教授 | ヒト生細胞の分子夾雑環境における核膜の構造と相互作用の解明 |
| 13:55-14:20 | 佐藤 薫 (A02) | 東京大学・理学系・助教 | p i R N A 産生場であるタンパク質-RNA凝集体N u a g e の形成機構の解明 |
| 14:20-14:45 | 田中 成典 (A02) | 神戸大学・システム情報学研・教授 | 水を通して見る生体分子夾雑系の情報熱力学 |
| 14:45-15:10 | 後藤 祐児 (A02) | 大阪大学・蛋白質研究所・教授 | 細胞夾雑系における蛋白質の異常凝集の原理と制御 |
| 15:10-15:30 | 休憩 | | |
| 15:30-15:55 | 築地 真也 (A01) | 名古屋工業大学・工学系研・教授 | 細胞内オルガネラ膜の分子認識化学の開拓と展開 |
| 15:55-16:20 | 小松 徹 (A01) | 東京大学・薬学研・特任助教 | 分子夾雑の理解に基づく密閉タンパク質のオルガネラ膜局局在機構の解明と制御 |
| 16:20-16:45 | 田井中 一貴 (A01) | 新潟大学・脳研究所・特任教授 | 組織夾雑系の理解を目的としたケミカルプローブの設計戦略 |
| 16:45-17:10 | 内山 進 (A03)(代理 丸野孝浩) | 大阪大学・工学系研・教授 | 蛍光超速心分析法による分子夾雑環境中での定量的相互作用解析 |
| 17:10-17:35 | 大塚 洋一 (A03) | 大阪大学・理学系・助教 | ナノ体積液体を駆使した極致イメージング質量分析法による分子夾雑情報の可視化 |
| 17:35-17:55 | 休憩 | | |
| 17:55-18:20 | 武森 信曉 (A03) | 愛媛大学先端研究・学術推進機構・講師 | トップダウンプロテオミクスによる分子夾雑環境におけるタンパク質分子の構造解析 |
| 18:20-18:45 | 明石 知子 (A02) | 横浜市立大学・生命医学研究科・准教授 | 夾雑環境下でのタンパク質相互作用の観測を可能とするネイティブ質量分析法の構築 |
| 18:45-19:10 | 石森 浩一郎 (A02) | 北海道大学・理学系・教授 | 細胞夾雑系における圧力効果を用いた蛋白質の物理化学的特性解析法の確立と応用 |
| 19:10-19:35 | 菅瀬 謙治 (A02) | 京都大学・工学系研・准教授 | R h e o -NMRによる夾雑環境と剪断力がタンパク質の安定性に及ぼす影響の解析 |
| 20:00-21:30 | 懇親会: | | |

| 5月21日(火) | | | |
|-------------|--------------|---------------------|--|
| 8:20-8:45 | 浜地 格 (A01) | 京都大学・工学系研・教授 | 分子夾雑下での生命分子の直接修飾/機能解析を実現する有機化学 |
| 8:45-9:10 | 中村 浩之 (A01) | 東京工業大学・科学技術創成研究院・教授 | タンパク質夾雑空間解析を可能とする光触媒-近接標識法の開発 |
| 9:10-9:35 | 山次 健三 (A01) | 東京大学・薬学研・助教 | 分子夾雑下ヒストンアシル化による細胞機能制御を可能にする化学触媒システムの開発 |
| 9:35-10:00 | 掛川 渉 (A01) | 慶應義塾大学・医学部・准教授 | 脳内夾雑環境で働く記憶・学習回路の新規化学遺伝学的制御 |
| 10:00-10:25 | 寺井 琢也 (A01) | 埼玉大学・理工学研究科・特別研究員 | 分子夾雑場における進化的ペプチドリガンド探索手法の開発 |
| 10:25-10:45 | 休憩 | | |
| 10:45-11:10 | 中曽根 祐介 (A02) | 京都大学・理学系・助教 | 分子夾雑系におけるタンパク質の動的挙動一掃らぎと反応ダイナミクス |
| 11:10-11:35 | 藤原 慶 (A02) | 慶應義塾大学・理工学部・講師 | 分子夾雑が引き起こす生命システム動態転移の構成的な理解 |
| 11:35-12:00 | 上田 卓見 (A01) | 東京大学・薬学研・助教 | 核磁気共鳴法による分子夾雑系膜環境におけるG蛋白質共役型受容体の機能解明 |
| 12:00-12:25 | 古川 良明 (A02) | 慶應義塾大学・理工学部・准教授 | 分子夾雑環境におけるタンパク質の金属イオン獲得メカニズム |
| 12:25-13:30 | 昼食 & 総括班会議 | | |
| 13:30-13:55 | 馬場 嘉信 (A03) | 名古屋大学・工学系研・教授 | がん病態環境の分子夾雑マッピングデバイスの開発 |
| 13:55-14:20 | 夏目 敦至 (A03) | 名古屋大学・医学系研・准教授 | 分子トレーシングを基盤としたがんと神経の細胞標的分子の創製 |
| 14:20-14:45 | 内田 康雄 (A03) | 東北大学・薬学研・助教 | 輸送分子夾雑系の再構築に基づくヒト血液脳門の薬物輸送システムの解明 |
| 14:45-15:10 | 篠原 恭介 (A03) | 東京農工大・工学系研・特任准教授 | 細胞夾雑系における脱凝集因子 Hsp104 の特性解析と神経変性疾患治療への応用 |
| 15:10-15:30 | 休憩 | | |
| 15:30-15:55 | 丸山 達生 (A01) | 神戸大学・工学系研・准教授 | ガン細胞内での合成脂質の自己組織化制御と細胞死の制御 |
| 15:55-16:20 | 小澤 岳昌 (A01) | 東京大学・理学系・教授 | 細胞膜タンパク質機能を制御する人工光応答分子の開発 |
| 16:20-16:45 | 二木 史朗 (A01) | 京都大学・化学研究所・教授 | 生体膜の曲率・脂質パッキング状態変化を誘起する機能性ペプチド |
| 16:45-17:10 | 王子田 彰夫 (A01) | 九州大学・薬学研・教授 | 生体夾雑系におけるタンパク質不可逆阻害のための有機化学の開拓と創薬展開 |
| 18:00 | ツアー (オプション) | | |

| 5月22日(水) | | | |
|-------------|--------------|----------------------------|---|
| 8:20-8:45 | 萩原 伸也 (A01) | 理化学研究所・分子生命制御研究チーム・チームリーダー | 植物機能の理解と制御を目指した分子夾雑の合成化学 |
| 8:45-9:10 | 伊野部 智由 (A01) | 富山大学・准教授 | 細胞夾雑系における選択的タンパク質分解制御方法の開発 |
| 9:10-9:35 | 田端 和仁 (A03) | 東京大学・工学系研・講師 | 夾雑を制御するための細胞融合デバイス開発 |
| 9:35-10:00 | 加地 範匡 (A03) | 九州大学・工学系研・教授 | 酵素活性に着目した分子夾雑系定量評価法の開発 |
| 10:00-10:25 | 新井 敏 (A03) | 早稲田大学・理工学術院・講師 | 光熱変換色素を用いた分子夾雑空間の温度制御システムの開発 |
| 10:25-10:45 | 休憩 | | |
| 10:45-11:10 | 松浦 和則 (A02) | 鳥取大学・工学系研・教授 | 分子夾雑系におけるウイルスキャプシド自己集合の物理化学 |
| 11:10-11:35 | 喜井 勲 (A02) | 信州大学・学術研究院 (農学系)・准教授 | リン酸化酵素の活性・阻害に影響を与える細胞内分子夾雑環境の理解と創薬応用 |
| 11:35-12:00 | 小井川 浩之 (A02) | 東北大学・多元研・助教 | 蛍光-分子分光による分子夾雑環境におけるタンパク質の構造変化追跡 |
| 12:00-12:25 | 河田 康志 (A02) | 鳥取大学・工学系研・教授 | 天然変性蛋白質 α シヌクレインの細胞内夾雑系における凝集解析とその制御 |